

08月度 例会 山行報告書		報告者	竹内	参加メンバー	CL: 岡田晋、SL: 塚本英吾、浜島弘一、白井義道、油井武、佐溝直彦、不破考浩、青山武、岩崎芳彦、渡辺勝利、渡辺育子、青柳権代、片山嘉夫、津田廣一、竹内幹雄、岡田良枝、牧野勤、大西琴美、岡崎昌子、澤田あや子、
個人		報告日	09/06		
山城	奥琵琶湖	山行日	2014年08月23日(土)~		
山名	七々頭ヶ岳・呉枯ノ峰		2014年08月24日(日)		
山行目的	夏の例会 (1泊2日)		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図: 木之本、

08/23 晴れ	8/24 晴れ
7:00 厚生年金 P 発	8:50 坂口登山口
8:10 養老 SA	9:30 休憩 (330m)
9:47 上丹生登山口	10:15 分岐
10:10 休憩 (300m)	10:28 ケヤキの門
10:35 休憩 (350m)	10:45 管山寺
10:50 休憩 (430m)	10:57 分岐
11:40 休憩 (650m)	11:35 呉枯ノ峰
12:00 七々頭ヶ岳頂上	12:00 下山開始
693m	12:25 分岐
12:49 下山開始	13:00 坂口登山口
14:26 菅並登山口	14:00 北近江リゾート



七々頭ヶ岳頂上



呉枯ノ峰の一等三角点

〈山行報告〉 早朝、刈谷を出発して七々頭ヶ岳の麓にある「上丹生登山口」に到着。準備体操をしてから出発する。登山口周辺には「ミョウガ」が群生している。CLの岡田さんがこの時期に合わせて「七々頭ヶ岳」を選んだようである。ミョウガを採取して土産にする。登山道を進むと一人一人が通れるくらいの狭さになる。傾斜もきつくなり風の通りがない中を歩いていると汗が吹き出てくる。25分程歩いて休憩をする。この後も傾斜と暑さの為こまめに休憩を取りながら登って行く。稜線に出て、時々吹いてくる風がとても涼しい。「あー、気持ち良い」つい声が出る。やがて緩やかな登りになると「七々頭ヶ岳」頂上に到着だ。そこは広場になっていて木々に囲まれているので眺望はない。近くに三等三角点がある。そこから5分程下りた所に「伝説の池」があるが、池というより水飲み場である。ゆっくり休憩した後、下山は菅並登山口に下りる。下山道も急なこう配になっていて足元に注意しながら下りる。途中から車の運転手が先に下りて上丹生登山口に車を取りに行き菅並登山口に戻る。全員下山した所で車に乗り移動。本日の宿「分右エ門」に泊まる。翌日は朝8時に出発。呉枯ノ峰の麓、坂口登山口に到着、車を道路から脇にある空き地に入れ出発する。登山道は昨日に比べ広く、勾配も緩やかで歩きやすい。元々参道だった名残で所々に仏像が鎮座しているが自然の中で風化したのか首から上が無くなっているのが目立つ。やがて分岐に到着、集合写真を撮った後「管山寺」に向かう。10分程で

到着、樹齢1,300年のりっぱなケヤキの門がある。その近くに弘法水があり数人が水を汲んでいた。一口飲んだけれど「おいしかった」。そして、分岐に戻りここから呉枯ノ峰へのピストンをする。体調を考えて行ける人だけ15名が参加、登山道は緩やかで頂上は雑木林の中にある。一等三角点があり、集合写真を撮る。そして下山。下山後は、北近江リゾートで温泉に入り汗を流してさっぱりする。後は車で刈谷に帰宅する。

〈リーダー所見〉 無事に山行を終えることができ、とても良かったです。気になっていた「ミョウガ」の群生も予想通りで良い時期に来ることができたと思っています。ただ夏の例会は一年で一番暑い時期なので、低山で急な登りは汗がいっぱい出てしまい、ましてや風の通りがないと本当に皆さん、暑い思いで登山されたかと思います。参加された皆様、お疲れ様でした。

《フリースペース》



管山寺手前の分岐

確認
(リーダー)

岡

14/09/07

田

作成
(報告者)

竹

14/09/07

内